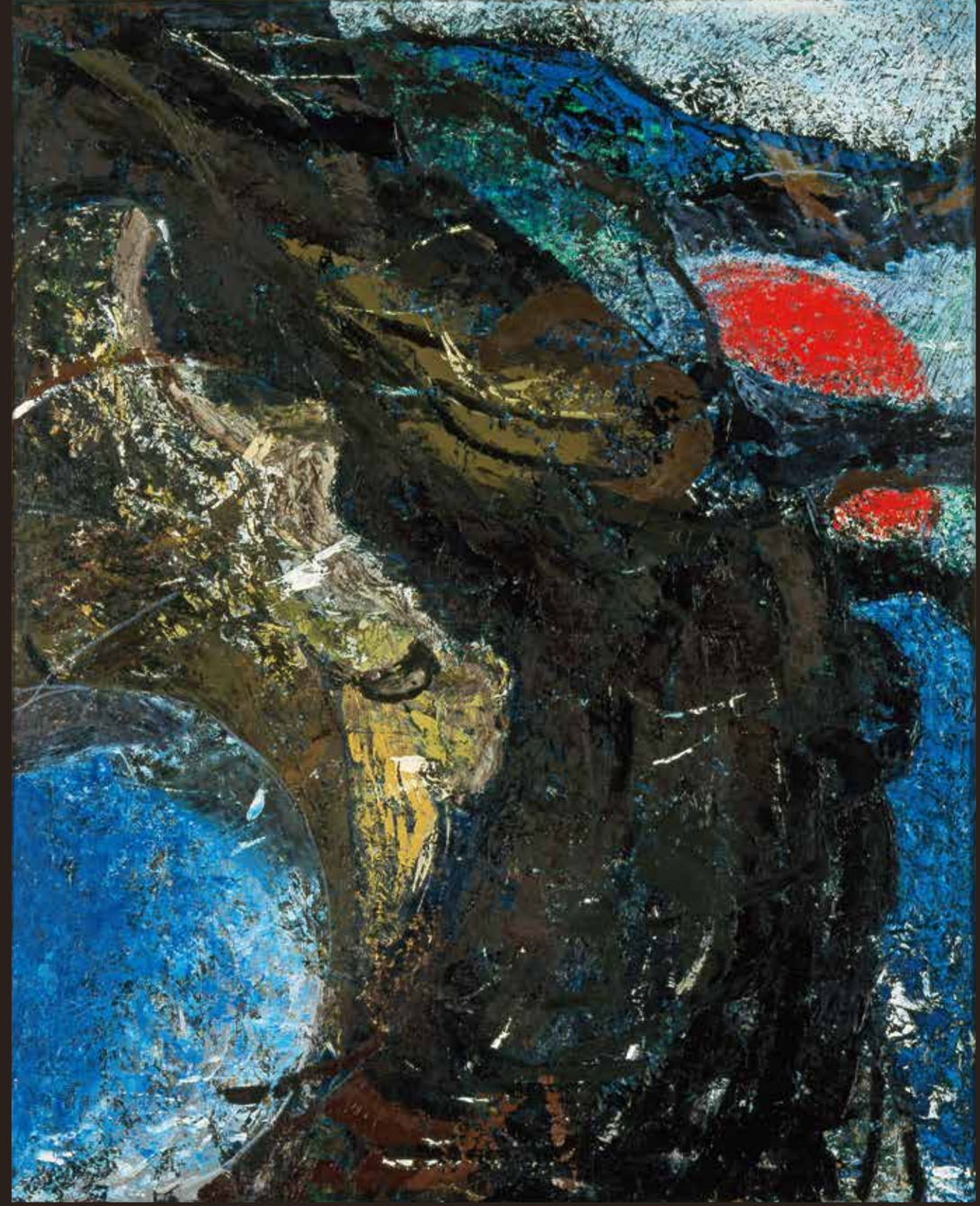
三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー



《風景》1986年

《富嶽［絶筆］》（山形美術館所蔵）2002年

桜井浜江 後期作品展

2025年
10/25［土］
▼
11/24［月・休］

開館時間 | 午前 10 時 30 分 – 午後 5 時 30 分　**休館日** | 月曜日 (11/3、11/24 は開館)、11/4 (火)、11/5 (水)　**観覧料** | 無料　**主催** | 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団　**協力** | 公益財団法人山形美術館　**お問合せ** | TEL 0422-29-9868 (三鷹市公会堂)　https://mitaka-sportsandculture.or.jp/shg/

《波》1991年

《風景》1985年

《富士》1990年

《淵》1986年

《花無惨》1994年

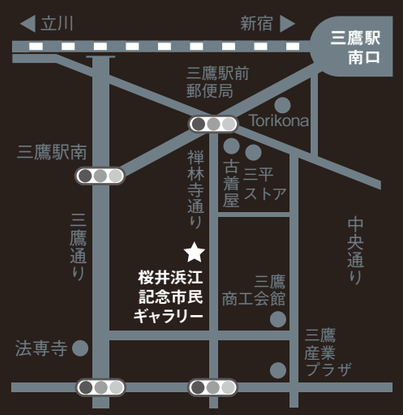
この桜井浜江展も、一昨年の前期作品展、昨年の中期作品展に続く最後の後期展となりました。

1926（大正15）年、18歳の桜井浜江は画家となるべく故郷山形を出奔上京します。そして2007年2月12日、99歳を目前に三鷹中央病院にて息を引き取るまで、つまり18歳から80年余を経たその日まで、常にひとりの「画家」であり続けました。

前期展は、代表作となる中期の「樹」に収斂してゆく前の人物像を中心にしたもので、その画業の背景を知る上でも重要な展開でした。中期展では、桜井の独自な画境があきらかになる作品7点を精選し、他の誰でもない画家の裸の魂を当の画家のアトリエ跡に陳列することができました。

そして今回の後期展です。中期においてひとつの到達点に達した桜井が、ここでは、地上のあらゆる景観が自らの身体に合一したものであることを謳うかのようです。画家は対象を自己と切り離して見ることはしません。いわゆる理解とは大きく異なる事態です。そのものとなって、ものとして絵筆を握るのです。そこでは世界はまだひとつの混沌であったと言えましょう。そのことを私たちは眼前にします。

山形美術館所蔵の絶筆を含む7点の作品です。どうぞ画家になったおつもりで、じっくりと対峙してください。



三鷹駅から会場までのアクセス

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-42-3 1階 JR三鷹駅南口より徒歩5分（約350m）

桜井 浜江

さくらい はまえ

1908（明治41）年山形市生まれ。県立山形高等女学校卒業後補習科を修了し上京。川端画学校洋画部、岡田三郎助私塾、1930年協会洋画研究所などで学び、31（昭和6）年第1回独立展入選。39年三鷹市に転居。47年三岸節子らと女流画家協会創立。48年独立賞。54年独立美術協会会員。95年「桜井浜江展－画業65年の軌跡－」（青梅市立美術館）。2006年桜井浜江・田中田鶴子・桜井寛 三人展」（三鷹市美術ギャラリー）。2007年死去。2008年「生誕100年記念 桜井浜江展」（山形美術館）。

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー

Mitaka City Hamae Sakurai Memorial Gallery